

令和7年度 千葉市立北貝塚小学校グランドデザイン

1 学校教育目標 めざす教育

かかわりあいの中で 自らチャレンジする子
— 自分大好き 友達大好き 地域大好き —

めざす学校

- 安全安心な学校
- わくわくする学校
- みんなが主役の学校

めざす子供

- やる気のある子 (知)
- 思いやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

めざす教師

- 子供のよさを認め、励ます教師
- 研鑽に励み、指導力のある教師
- 組織の一員として協働し、信頼される教師

<チーム北貝塚小>

学校・家庭・地域連携のもと 未来を拓く子供たちの「生きる力」を育む

<学校経営の基本方針>

全ての教育活動は、学校教育目標の具現化に向けた組織的・効果的・創造的な取組であることを念頭に

I 児童の指導の方針

- ①「やってみよう」の気持ちを大切に、前向きにチャレンジする心を育てる。(知)
- ②他者とのかかわりあいを通し、自分と他者のよさやちがいを認め合い、思いやりの心を育てる。(徳)
- ③自分の未来を切り拓いていくために必要なたくましい体と心を育てる。(体)

II 学校運営の方針

- ①職員一人一人の知恵と総力を結集し、全職員の協働による学校経営の参画を図る。
- ②生徒指導・いじめ・不登校など多様な学校の課題は、児童理解と信頼を基盤に、学校組織で対応する
- ③学校・家庭・地域との連携を図り、社会に開かれた教育課程、信頼される学校づくりに努める。
- ④子供が安全・安心で楽しい学校生活を送れるよう一人一人に寄り添った温かな学校づくり・安全管理に努める。

2 学校教育目標の具現化に向けての重点 (◇目標 ○具体的方策)

「あい（挨拶・ありがとう・いいところ探し）とチャレンジ」

「確かな学力」の育成

- ◇「主体的・対話的で深い学び」個別最適な学びと協働的学びの一体的充実
- 学力向上アクションプラン
- 『自ら学びにチャレンジする子』に基づく授業の工夫改善
- 校内研究算数を中心とした、より一層の個別最適な学びと協働的な学びの追求 (R7・8 市研究指定校)
- 基礎的基本的な知識・技能の習得 朝学習の活用
- 主体的に取り組む問題解決的な学習
- ギガタブやICT機器、「話し方・聞き方名人」の活用
- 読書活動の充実○家庭学習の習慣化
- 専科授業や交換授業による学習指導の充実

「健やかな体」の育成

- ◇未来を切り拓くため体力健康づくりをめざして
- 体育学習の充実 外遊びの奨励 運動の日常化
- 食育の推進・食物アレルギー対応
- ◇「自分の命は自分で守る」意識の向上
- 防災・防犯訓練 ○安全・安心な環境づくり
- 「生命（いのち）の安全教育」の推進

個に応じた指導・支援、生徒指導・教育相談の充実

- ◇児童の安定した生活や学びの継続をめざして
- 全職員による多面的な児童理解・支援
- 個別の支援計画・指導計画に基づく計画的実践
- 特別支援学級と通常学級との交流学习の充実
- いじめ未然防止・早期発見・組織的な支援や対応
- いじめ・教育相談アンケート 教育相談週間

「豊かな人間性」の育成

- ◇安全・安心、自己肯定感がもてる学校をめざして
- 学年の実態に応じた学年目標の設定
えがお学級「あいとチャレンジ」
1年「なかよし」2年「チャレンジ」
3年「思いやり」4年「やってみよう！」
5年「認め合い」6年「考動・肯動・幸動」
- ◇規範意識や社会性の育成
- 学校のきまり「北貝塚小の一日」共通実践
- 挨拶のできる集団形成 ○情報モラル教育の推進
- ◇自己・他者の人権意識の向上をめざして
- 道徳の教育活動全体を通して推進
- 主体的に考え、議論できる授業
- 多様性を認め合う教育 ○人権教室・人権週間

特別活動・キャリア教育の充実

- ◇児童一人一人の自主的取組をめざして
- 学級の当番や係活動、委員会・クラブ活動の運営
- 異学年交流活動
- キャリア発達を促す学び

保護者・地域との連携

- ◇「共に育てる」教育の実現をめざして
- 教育活動の理解を深める機会の充実
- PTA、学校評議員会、セーフティワッチャー、育成委員会との連携
- すぐえる・種たより、学校評価、HPの活用